



## QR コード⑪【道しるべ⑪⇒道しるべ⑫ 760歩】

寄藻川沿いを西に760歩。橋の手前の左に道しるべ⑫が。

宇佐神宮東口まで約1.6km

### ひりいー田んぼにうわっちゃんのは、大豆かえ～ ちょっと大きめな黒大豆でなあ～『クロダマル』ち、いうんで！



宇佐クロダマル

宇佐市は、国宝「宇佐神宮」を中心とした、歴史と文化の受け継がれた地域で、農業においても千年の昔から続く農法を現在に残している。クヌギの広葉樹林で育まれた養分を豊富に含む地下水が、ため池や川を伝って水田を潤している。

大分県一の穀倉地帯と呼ばれる宇佐平野では、コメ・麦・大豆の栽培が盛んにおこなわれている。

その中でも黒大豆『クロダマル』は、平成21年から生産を始め、県内のほぼ全量、全国でもトップクラスの生産量を誇る産地に育った。温暖な気候に適した品種として誕生した『クロダマル』は、新丹波黒の子どもであり、アントシアニンが豊富で、食物繊維を多く含み、苦みが少なく甘みが強い。

宇佐市では、宇佐産クロダマルを『宇佐クロダマル』とよび、大地が育む至極の黒大豆としてブランド化を推進している。ここ北馬城地区橋津菅農組合「よりの郷」では、道しるべ⑪近くの「ほ場(畑)」6haで、『クロダマル』を栽培している。



『クロダマル枝豆』もどうぞ

成熟前のクロダマルは枝豆として食べることもできる。旬が短いため、あまり流通していない希少な枝豆であるが、学校給食の「ふるさと給食の日」メニューに採用され、収穫イベントなども行われている。

『宇佐クロダマル物語』

クロダマルの種まきから枝豆収穫・豆腐作りまでの一連の体験を北馬城まちづくり協議会主催で『宇佐クロダマル物語』と題して年4回体験イベントを実施している。

平成28年からスタート。一般参加者に加え、市内の高校生、県内の学生らも参加。体験後、全員での昼食会も賑わい、クロダマルを使ったお菓子やパン、ソフトクリーム、料理なども、昼食時販売されている。このイベントを通じて、『宇佐クロダマル』のファンが年々拡大している。ご家族やご友人を誘って、宇佐クロダマル体験に参加してみませんか？



#### クイズ11

宇佐地域は、平成25年5月30日に、国東半島地域と共に国際連合食料農業機関(FAO)より「世界〇〇遺産」に認定された。〇〇に当てはまる言葉は何か？

解答はQRコード12で

クイズ10の解答(538年百済の聖明王より他説あり)